

第32回 全国高等学校ロボット競技大会 栃木大会(Q&A)

項目	NO.	Q	A	更新日
競技方法	Q-1	(1)実施規則1ページの五重塔建立について、心柱を倒した場合どう扱われるか。 (2)実施規則8ページ オ競技開始④流鏑馬奉納について、とちまるくんとルリちゃんは接地面以外ははみ出してよいのか。 (3)同様に流鏑馬奉納について、流鏑馬の的は流鏑馬奉納エリアからはみ出してよいのか。 (4)同様に流鏑馬奉納について、シャトルコックは直接コンテナに入れないで、ルリちゃんに当たってから跳ね返ってコンテナに入ってもよいのか。	(1)心柱単体で倒れた場合は、元に戻す(立てる)ことにより五重塔建立が可能とします。ただし、コート外に倒れて競技者エリアに接触した場合は、五重塔建立はできません。 また、五重塔建立後に倒れた場合は、日光杉が杉並木エリア以外の床に触れることになるので、元に戻すことは不可とし、得点も認められません。 (2)とちまるくん、ルリちゃんともに接地面以外が各エリアからはみ出すことは問題ありません。 (3)流鏑馬の的は、流鏑馬奉納エリアからはみ出すことは可能です。 (4)流鏑馬の矢は、ルリちゃんに当たってから流鏑馬の的に入ることは問題ありません。	2024.4.14
競技方法	Q-2	(1)実施規則p6 ク 二荒山神社エリアの記述に「内寸横362mm×奥行400mmの的保管エリア」という記述がありますが、競技コート図面のp9を見ると的保管エリアの内寸は、横324mm×奥行き400mmになっています。どちらかが間違っていると思いますが、正しいのはどちらでしょうか？ (2)二荒山エリアの的保管エリアと中禅寺湖エリアの流鏑馬奉納エリアは、幅50mmのプラスチックフィルムテープも含む、という解釈でよろしいでしょうか？ (3)アイテムAとアイテムBを運搬する際、アイテムが地面に触れた状態、すなわち引きずるような形での運搬は認められますか？	(1)訂正した図面を掲載します。実施規則に記載の通り362mm×400mmが正しい寸法です。 (2)50mm幅のテープも各エリアに含みます。 (3)アイテムA(流鏑馬の的)については、二荒山神社エリア内であれば引きずることは可能です。 アイテムB(日光杉)については、杉並木エリア内であれば引きずることは可能です。なお、実施規則p4競技コートの仕様 (1)各エリア「ウ」に記載の通り、日光杉は杉並木エリアでのみ取ることができます。	2024.4.16
コース仕様	Q-3	アイテムFの仕様が「YONEX メイビス40」とありますが、型番M-40Pでよろしいでしょうか？ また、M-40Pの中にサイズ分けが S M F と3種類あります。どれでしょうか？	型番はM-40Pです。サイズは「M」(ブルーのキャップ)です。	2024.4.18
コース仕様	Q-4	(1)東照宮の奉納ですが、塩ビキャップの上に異径ソケットを取り付けとありますが異径ソケットの長さはいくらですか。 (2)その異径ソケットは固定しますか。 (3)C-TSS20×13の「×13」はどういう意味でしょうか。	(1)クボタケミックスのカタログによりますと長さは68mmです。 (2)固定はしないでキャップに差し込んだ状態です。 (3)塩ビ管の呼び径です。	2024.4.24

コース仕様	Q-5	(1)7ページにある杉並木エリアのフェライト強粘着テープの貼る位置について とちまろくんスタートエリアから新橋エリア方面へ向かうフェライト強粘着テープ3個所の位置(前後方向)が定められておりません。前後方向の位置を明確にしていただけないでしょうか。 (2)13ページにある心柱のコンパネ寸法および奉納台について コンパネ150×150とありますが、この平面図では100×100となっています。どちらで作成すればよろしいでしょうか。 また、心柱(クボタケミックスTSC20)を固定する位置はその中心ということによろしいでしょうか。 奉納台のクボタケミックスTSC20を固定する前後位置も段ごとの前後幅である100の中心ということによろしいでしょうか。 (3)二荒山神社エリアの床面の材料について 9ページには二荒山神社エリアの床材は特に記載がありません。二荒山神社エリアは5ページで作成したコンパネが床面となるのでしょうか。 12ページの側面図を見る限り、コンパネの上にさらに板材を乗せているように見えます。(おそらくパネコート?) 9ページにパネコートの記載が抜けている、という解釈でよろしいでしょうか? (4)二荒山神社エリアの外周部の2×4材の高さについて 競技コートは3ページにある養生ボードを敷いたその上に、4ページにある床面フレームを組む指示となっておりますが、外枠用フレームも同様に養生ボードの上に(床面フレームの外側に)組むという図面だと思います。しかし、12ページにある図の二荒山神社エリアの外周部(破線で書かれたものと思われる)が養生ボードではなく床面フレームに乗っている配置(外周部が浮く状態??)になっており、4ページと矛盾しているように感じます。4ページが正しいとすると、12ページの外周部(破線)はさらに床面フレームだけ低い位置になる? 12ページが正しいとすると、4ページの外周部は浮いている状態で固定する場所がなく作成できない?と、思うのですが、どのようにすればよいでしょうか	(1)前後方向の位置を明記した図面を掲載します。 (2)心柱のコンパネ寸法は100×100になります。訂正して、掲載いたします。心柱(クボタケミックスTSC20)を固定する位置はその中心になります。 (3)二荒山神社エリアの床面の材料はパネコートになります。訂正した図面を掲載します。 (4)訂正した図面を掲載します。	2024.4.26
-------	-----	---	---	-----------